

すべての職場で働くルールの確立を！

大企業労働者交流集会

3月4日、エルおおさかにおいて、「働くルールの確立で、なくせ貧困・変えよう職場」をスローガンに第2回大企業労働者交流集会を開催し、47名が参加しました。

この集会は大企業で働く労働者と大阪労連でつくる実行委員会が参加を呼びかけ、2回目の集会になります。私鉄「連帯する会」の斉藤充男さんが主催者を代表して挨拶をおこない、橋下大阪市長の「思想調査」は、ファッショ政治そのもの、労働組合攻撃を許さないため協力・共同してデータの破棄と謝罪を求めてたたかおうと訴えました。



労働運動総合研究所・大木一訓さんの「今日の財界戦略と労働運動への期待」と題した

講演では、日本経団連「経労委報告」の無能無策さを痛烈に批判し、大企業の「埋蔵金」内部留保をどう摘発し活用するかを中心に話が進められ、情勢が求める労働運動の役割、課題について講演をいただきました。午後からは2つの分科会に分かれ討論がすすめられ、リストラ「合理化」の実態や労働組合に加入して雇用を守らせたという教訓、非正規職員の組織化と労働条件向上は、正規職員を人間らしい働き方に変えていくとして、非正規・正規が一緒になって運動しているなどの発言が相次ぎました。分科会報告、JAL 不当解雇撤回闘争への支援要請、電機懇の西野健一さんの閉会挨拶で交流集会を終えました。



3月7日に難波・高島屋前で行われた JAL 支援共闘会議の宣伝には組織の違いを超え60人が参加。原告の訴えをはじめ、全厚生の小林さんから「JAL や社保庁の不当な首切りは許されない」などと訴え。

対話を正面に 目に見える活動で増勢に転じよう！

2012 春の組織・共済拡大交流集会

大阪自治労連は、2月25日～26日で「2012年春の組織・共済拡大交流集会」を大阪市内で開催し、25単組141名が参加しました。

1 日目は、基調報告に続き、名古屋大学教育学部の石井拓治さんから



記念講演が行われ、「青年の組織化と次世代育成をどう進めるか」と記念講演が行われ、「新自由主義改革で選択と競争に基づき数値化という評価がされ、安価な労働力と雇用の不安定化で、世界的に労働組合の組織率が低下している中で、『私たちの課題は、従来のシステムに変わる新しいシステムをつくりだす展望のうえに運動をすすめることではないか』として学校の教育状況や実践例など話され、今の青年が早くから差別・選別化され、つながりを喪失され、青年の声を聞けていないのではないかと問題提起がありました。その後、シンポ形式で討論が行われました。2日目は、「青年の組織化と次世代育成」・「労働組合の役割と相談活動」・「共済講座」など5分科会に分かれて職場の実態や取組み状況、今後の運動方向などをしっかり討論。参加者からは「何故、組織を大きくするのかを全員のものにして取り組むことが大切」、「課題が少し見えたので帰って実践したい」などの感想が寄せられました。

大阪自治労連は、この春の拡大月間で、総対話活動や目に見える活動を重視した具体的な行動を通じて、共済では「つながる」宣言の実践で最高時回復に向け月間で1680名の拡大をめざし、組合員拡大では、昨年6月実態調査の5%アップを目標として“増勢に転じる”ことに集中した活動の意思統一をしました。

お願い！12春闘での各組織の取り組みを労連までお送り下さい